



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03 - 5908 - 0161

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,058	24.1	224	73.2	222	62.1	322	
2020年3月期第1四半期	13,247	1.4	837	15.6	587	27.9	327	37.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 621百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 128百万円 (78.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.74	
2020年3月期第1四半期	16.02	15.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	64,572	26,729	40.0
2020年3月期	62,804	27,927	42.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 25,825百万円 2020年3月期 26,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		24.00		24.00	48.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	23.8	650	70.2	500	72.2	500		24.41
通期	49,000	16.6	3,000	45.2	2,750	44.9	1,100	65.7	53.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	27,048,200 株	2020年3月期	27,048,200 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,564,603 株	2020年3月期	6,576,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	20,477,597 株	2020年3月期1Q	20,422,432 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、世界中で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済活動が著しく低下するなかで推移いたしました。このような環境のもと、日・米・中ほか、当社グループの主要な生産拠点では通常通りの操業が継続できた一方で、当社グループを取り巻く市場においては、地域や業種により多少の差はあるものの、ほぼ全てのセグメントで需要の縮小が見られました。

その結果、売上高は10,058百万円（前年同期比24.1%減）、営業利益は224百万円（前年同期比73.2%減）、経常利益は222百万円（前年同期比62.1%減）となりました。なお、税効果による法人税負担増の影響により親会社株主に帰属する四半期純損失は322百万円（前年同期は327百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	5,169百万円 (15.6%減)	1,166百万円 (4.1%増)
米州	4,317百万円 (30.5%減)	△265百万円 (前年同期は72百万円の営業利益)
中国	1,441百万円 (26.6%減)	197百万円 (30.2%減)
アジア	528百万円 (19.6%減)	△9百万円 (前年同期は5百万円の営業損失)
欧州	977百万円 (2.4%増)	△60百万円 (前年同期は19百万円の営業損失)
その他	307百万円 (17.7%減)	△7百万円 (前年同期は0百万円の営業利益)

(日本)

国内市場においては、当第1四半期の途中からコロナ禍の影響が拡大し、期初には堅調であった需要も徐々に縮小しました。加えて海外市場の需要減少を受けて子会社への輸出が減少したことから、売上高は5,169百万円（前年同期比15.6%減）となりました。一方で、利益面では費用削減が奏功し、営業利益は1,166百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(米州)

米国において期初よりコロナ禍の影響を受けて需要が低迷した結果、売上高は4,317百万円（前年同期比30.5%減）、利益面では265百万円の営業損失（前年同期は72百万円の営業利益）となりました。

(中国)

中国は、足元ではコロナ禍の影響をいち早く脱し、業績は急速に回復しているものの、当セグメントに含まれる中国子会社は12月決算（1～12月）のため、当第1四半期（1～3月）においては、売上高は1,441百万円（前年同期比26.6%減）、営業利益は197百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

(アジア)

欧米市場に比べてコロナ禍の影響は軽微であったものの、東南アジア地域の自動車関連産業などの設備投資が低迷した結果、売上高は528百万円（前年同期比19.6%減）、利益面では9百万円の営業損失（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(欧州)

欧州各地のロックダウンなどにより経済活動は停滞、需要は大幅に減少しました。なお、当セグメントにおいて前連結会計年度末にクレーン関連製品を製造するフィンランドの子会社を連結しております。その結果、売上高は977百万円（前年同期比2.4%増）となりました。利益面では60百万円の営業損失（前年同期は19百万円の営業損失）となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されており、売上高は307百万円（前年同期比17.7%減）、営業損失は7百万円（前年同期は0百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は64,572百万円と前連結会計年度末に対し1,767百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の増加5,240百万円、受取手形及び売掛金の減少3,429百万円、商品及び製品の増加627百万円等によるものです。

負債合計は37,842百万円と前連結会計年度末に対し2,965百万円増加いたしました。これは、短期借入金の増加5,797百万円、未払費用の減少1,310百万円、長期借入金の減少625百万円等によるものです。

純資産合計は26,729百万円と前連結会計年度末に対し1,197百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少813百万円、為替換算調整勘定の減少274百万円、非支配株主持分の減少123百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期は、当社グループ5カ年の中期経営計画の最終年度となります。事業の生産性と効率性を高めることで利益とキャッシュ・フローの最大化を目指し、製品・サービスの品揃えの拡充に注力するとともに、組織のグローバル化を推進してまいりましたが、前連結会計年度の後半から、国内市場を中心に設備投資需要の減速が見られ、加えて、当年度期初より世界各市場においてコロナ禍による影響を受けたことなど、外部環境の変化は大きく、業績面での中期経営計画の目標達成は極めて難しい状況となりました。

一方で生産と組織のグローバル化を推進してまいりましたが、幸いにして本コロナ禍においてもサプライチェーンが毀損されることなく、日・米・中ほか当社グループの主要な生産拠点では通常通りの操業を継続することが出来ました。地域分散と多様な顧客基盤を持つ事業ポートフォリオが奏功し、リスク分散が図られた結果、世界的に需要が低減するなかにおいても、業績の下支えが出来たことなど、中期経営計画で進めてきた施策の成果が現れました。

業績予想の前提となります各市場の足元の状況は、中国は既にコロナ禍の影響を脱しつつあり、通期ではほぼ前年度と同等の業績を見込んでおります。そのほかの市場における需要の見通しは、依然として不透明な状況にありますが、日本及び北米ほか、概ね、経済活動の拡大に伴い、第2四半期以降、徐々に回復に向けて推移するものと見込んでおります。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の拡大、収束状況等、様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,468	14,708
受取手形及び売掛金	11,088	7,658
商品及び製品	13,601	14,229
仕掛品	1,193	1,236
原材料及び貯蔵品	3,302	3,393
その他	1,465	1,657
貸倒引当金	△73	△67
流動資産合計	40,046	42,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,461	4,310
機械装置及び運搬具(純額)	4,246	4,089
その他(純額)	4,044	4,113
有形固定資産合計	12,752	12,513
無形固定資産		
のれん	1,316	1,228
その他	4,003	3,905
無形固定資産合計	5,319	5,133
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	1,969
繰延税金資産	1,803	1,266
その他	881	872
投資その他の資産合計	4,686	4,108
固定資産合計	22,757	21,755
資産合計	62,804	64,572

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,668	5,248
短期借入金	3,252	9,049
1年内返済予定の長期借入金	4,271	4,222
未払費用	3,349	2,038
未払法人税等	377	119
賞与引当金	769	390
その他の引当金	480	254
その他	2,093	2,430
流動負債合計	20,263	23,752
固定負債		
長期借入金	10,808	10,183
退職給付に係る負債	2,336	2,400
その他	1,469	1,506
固定負債合計	14,613	14,090
負債合計	34,877	37,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,234	5,232
利益剰余金	24,086	23,272
自己株式	△5,678	△5,667
株主資本合計	27,618	26,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△91	△102
為替換算調整勘定	△64	△338
退職給付に係る調整累計額	△559	△547
その他の包括利益累計額合計	△716	△988
新株予約権	66	69
非支配株主持分	958	835
純資産合計	27,927	26,729
負債純資産合計	62,804	64,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,247	10,058
売上原価	8,316	6,482
売上総利益	4,931	3,576
販売費及び一般管理費	4,093	3,352
営業利益	837	224
営業外収益		
受取利息	5	9
為替差益	—	9
作業くず売却益	11	5
助成金収入	—	47
その他	23	37
営業外収益合計	40	109
営業外費用		
支払利息	90	64
持分法による投資損失	46	14
為替差損	102	—
その他	52	32
営業外費用合計	291	111
経常利益	587	222
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	5
特別損失合計	6	5
税金等調整前四半期純利益	582	217
法人税等	233	523
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△306
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	327	△322

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	△52	△10
為替換算調整勘定	△166	△300
退職給付に係る調整額	8	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△17
その他の包括利益合計	△220	△314
四半期包括利益	128	△621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	△594
非支配株主に係る四半期包括利益	37	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	3,400	6,199	1,804	657	811	373	13,247	—	13,247
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,727	10	159	—	142	—	3,040	△3,040	—
計	6,128	6,210	1,964	657	954	373	16,287	△3,040	13,247
セグメント利益又は損失(△)	1,120	72	283	△5	△19	0	1,451	△613	837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△613百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△696百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	2,903	4,294	1,280	528	744	307	10,058	—	10,058
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,265	22	161	—	233	—	2,683	△2,683	—
計	5,169	4,317	1,441	528	977	307	12,741	△2,683	10,058
セグメント利益又は損失(△)	1,166	△265	197	△9	△60	△7	1,020	△795	224

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△795百万円には、セグメント間取引消去△268百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△527百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。